昭和29年(1954) 1月20日 (水曜日) 第1031号

磐 城 日 日

新聞定價一ヶ月80圓 一部賣(3圓) 月曜休刊

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 梅野隆

# 各候補終幕の辯を競う

## 今夜一小に大合同個人演説会

十九日、午後六時から小名濱町才一小學校講堂に於て町長候補並に町議補選候補者の合同個人演説會が開催される、演説時間は一候補三十分として左の順位(抽せんによる)で行われるが、今選擧最後の合同演説とあつて期待されている

〔町議選候補者〕

杉本善之助氏

竹田千里氏

小野幸次郎氏

〔町長選候補者〕

志賀要平氏

立花秀吉氏

# 県合併審議會

## 現地調査日程決る

既報=縣町村合併促進審議會初の常任委員會で決定をみた縣下十七地區合併現地調査團の日程と委員の班別が十八日決定した それによると、信夫地方を皮切りに二十二〜二十五日まで縣下を四方部に分けて行われることになり現地では地元の各界代表者の意見を求めて懇談会などが行われる

▼浜通り班 委員=西澤喜洋芽、鷲文治、大平正二、古張信二以上四氏で日時と場所は次の通り

▼二十三日午前十時=石城地方自治確立審議会、午後二時=石城郡澤渡三坂組合村役場(澤渡村、三坂村、永戸村、箕輪村)

▼二十四日午前十時=小名浜町役場(小名浜町、泉町、渡邊村、江名町)

▼二十五日午前=相馬地方事務所(相馬地方自治確立審議会)午後二時相馬郡鹿島町役場(鹿島町、八澤村、上遠野村、眞野村)

## 今日の主張

# 泥試合を即刻やめ和をもつて大本となせ

比佐凡富

小名浜町の選擧は終末を目前に控えて益々熾烈の度を加えているが町の識者はこの選擧後の町政を憂慮している

選擧であり勝負であり、競手である以上その究極の目的を勝つ事におく事は必然であり、またその爲のトラブル、悲劇は宿命的なものであるかも知れない

しかし私もこの選擧後の事態の收拾について憂慮せざるを得ない事を悲しむものです

小名浜町の就中町長選擧はあまりにもひどい、唯その一語に盡きる、兩者とも種々理窟はあるであろうが、私にはどちらもどちらだと云いたい

兩候補は実に立派な公約をなされ、政見抱負を述べている、小名浜町の前途には言論に盡し難い程である事は今更云う迄もない

その困難な山積した重要諸問題を解決して行くには一人の町長や數人の町會議員が如何に政治力に長けていても爲し得るものではない

全町民の一致協力した姿によってのみ、はじめて花も咲き、實も結ぶものであると信ずる

勿論個々に微妙な感情の對立、或るいは思想的對立もあるであろうが町繁榮、發展と云う究極の目的に於ては必ずや一致するものであろう、協力一致、和こそ最も強き政治力ではなかろうか

かような秋に町長選擧と云う争いの爲に一家は夫婦別れ、親子ケンカ、兄弟争いに終始し、親族は相反目し、友人は相離し全町擧げて二分され、いたずらに感情に走っており互いに傷つけあつている

現状を見るときにこのまゝにして推移するならばと憂い慨くものは私一人でしょうか

町繁榮發展の爲に私の提唱出来る事は唯一つ、みにくい泥試合を早く止めてその對立を流水に投じ明ろく堂々と政見を戰わしてもらいたいと衷心全町民にお願いする事です

町長を選び町議を選ぶものは候補者でもなければ運動員でもない、有權者個人々々なのである

候補者は堂々と選れてもらいたい

しかして選擧後も決つしてそのジコリを町政に残さず、落選者は当選者を心から祝福し、当選者は落選者にも支持者のある事を再認識の上、その町民の支持する政見を町政に反映させより多くの町民の政治を具現すると云う美わしいスポーツマン・シップと云うかフワイン・プレーと云うか町民の前に見せていたゞきたいと再三誠心御願致す次第である

## 綱領

▲權力に屈せず言論の自由を守る

▲公平な批判、公明な報導

▲『今日の主張』をもつて本紙の社説とし基本的人權を擁護する

磐城日日新聞社

# 成人の日 駅傳競走

## 一位は山玉分団

川部村では成人の日の十五日午前九時より駅傳競走を行ったコースは川部小學校より下小川、沼部江栗、大高、窪田、白米山玉、學校の約十五キロで村内青年會五部落より選手が出場した參加人員は一分団五名づ、の二五名で各分團共に若人の意氣を示した

成績次の通り

一位=山玉分団

二位=瀬戸分團

三位=沼部分團

四位=上小山分團

五位=三澤分團

なおこの驛傳競走は來年度より年中行事として行うことになった

# 選擧違反續出か?

## 噂に戰く巷間の實態

小名濱町の町長、町議補選は投票日を愈々明後日に控え、中就町長選擧は増々熾烈の度を加えて全町を完全に二分した形となっているが、それに比例して相當の違反も行われている模樣で、小名浜地區署では全陣容を擧げて連日徹宵でこれが防犯警戒に當っている

しかし相當數の違反の内偵を極秘裡に進めている模樣から投票日の廿一日後各派の選擧違反が續々明るみに出されるものと見られている

その二・三を當って見ると次の通りとなっている

▼その一

小名浜町字迎六八無職船田キヨ(四四)さんは十二月二十九日同頃町下横町上遠野某女(三四)を通じて町長候補某氏に投票を依頼され名簿に名前を書いて封書入りの三百円を受領したが、その後違反行爲の恐ろしさから同町小名川丘二九番地建物仲介業伊藤軍之助氏外一名の付添いを得て地區署に屆出た

▼その二

小名浜町定西一九六番地須賀町區長吉田予之吉、(五六)氏は同町渚一番地製桶業相川勝一(四七)氏、外と同町渚一番地漁夫菅野龜吉(五三)氏他數軒を訪れ、某氏に投票を依頼した疑いで内密裡に捜索している模樣である

併し吉田氏は某派の應援を憤然と否定している

▼その三

小名浜町鹿島字御代前鹿島村議荒川某(五一)氏、同船戸前鹿島村議門馬某(五二)氏は七日頃某所に他十數氏と會同した際、某派運動員有力者某氏(五八)から現金二萬円をもって某候補の運動を依頼されたが、それを拒否し、その二万円を受領しなかったと云う證書を一札取つた模樣で、この邊から鹿島地區にボー大な買收違反事實が摘發されるのではないかと見られている

インサツは……ナがセ

# 青年幹部の講習

## 植中公民館で十八日から

植田町公民館主催の第一回青年幹部養成講習会は十八、十九の兩日午前九時より植田町公民館会議室に於いて開催した

講習会一日目の十八日は青年の心理青年團体の運營技術、グルトプ活動、廣報活動、集会とレクリエーションの時間の理論と実際について会を進行した

また二日目の十九日は会議の持ち方、進め方、討論の仕方、技術リーダの資格と任務(方式)などについて縣教委平出張所長の安部先生、吉田主事草野仁氏の三講師が講議盛会裡に終了した

受講者は約三十余名でいずれも熱心に受講した、終って三講師を中に入れて座談会を開いた

# 大勢は立花支持

## 社党小名濱支部動く

昨報=小名浜町政研究会は先きに立花候補と行政協定に成功し、大衆の政治を確立すると確約した立花候補の全面的応援を決定して終盤戰も終幕寸前の小名浜町長選に異常なセンセーションを巻き起し、各種民主團体の動向を大きく指導する傾向にあつたが、社会黨(右派)小名浜支部の大勢は社会大衆を基盤に、町民大衆の福祉施政を公約する立花町政実現に適進する事になった

立候補挨拶

小名浜町々会議員候補者

竹田千里(タケダセンリ)(五二才)

=主なる經歴=

一、昭和廿年十二月日本水素硫酸課勤務

一、昭和廿一年二月より日本水素労働組合常任委員、執行委員、副組合長、組合長歴任

一、昭和廿七年六月日本水素庶務課勤務至現在

=町會でぜひやりたい仕事=

一、町政の民主化

一、町民税の適正化

一、失業對策強化

一、教育の機会均等

金や權力に左右されず公明選擧で明るい町政を!!

洋畫二本立

18〜20日迄

同時上映

總天然色

笑いよや色氣の娯樂

ダニーケイの牛乳屋

ダニユーブの

ササヤき

小名浜 キンセ館 電二〇

入院隨意

外科 性病科

内科 レントゲン科

石井醫院

小名浜町本町

電話四七二番

松竹 東映 新東寶

映画常設館

菊多劇場

植田町番所下

電話植田77番

經營をかけずに良い品安く

皆様のお店です

冬服地ネルカセン純毛特價

夜具地と裏地フトンの手入

カネボウ毛糸 1900円

松月足袋別誂特製160円

豆別誂55円大人100円

純毛コツトン1500円より

セータカーデガントツクリ

裏毛メリヤスはオリエント

学生服セーラ服學帽カバン

化粧品柳屋メヌマ ジユジユ・ウテナ 80円

ちどりフトン綿

舊年末年始の御贈答品良い品嬉ばれる品私共は常に皆様の御相談相手として待機しています

チケット歡迎

皆様の店

平マーケット

小名浜第二小学校前 電二九七

昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱第684号
磐城日日
昭和29年(1954)1月20日 (水曜日) 第1031号

# 合併懇談會開く

## 時期・方式に微妙な動き

既報＝去る十二日の石城自治確立推進審議會に於て協議会された小名浜、江名、泉、渡邊三町一ヵ村の合併懇談会はその第一回会合を十九日午後一時から小名浜町役場大會議室に於て開き、大同合併の大綱について協議を重ねた

出席者は四ヵ町村の町村長、助役、正副議長及び各町村長の推薦する学識經驗者として小名浜町からは西丸、小野の二四氏が参集し、合併と云う大綱については既に大体の意見が一致しているから何時、如何なる方式によつてと云う時期と方法などを中心に審議されるものと見られている

同懇談会の大綱的結論がその方式を解散合併となればそれにからんで町村長、町村議会議員の任期など相当にデリケートな問題を含むところから注目を集めている

なお小名浜町外三町村が解散合併の方式を打ち出せば、町村合併促進法に基く全國初の解散合併となることになる

# 福島丸が進水式

## 偉容松島に映える

總工費五千四百七十万円を投じた福島縣教育委員会ご自慢の「福島丸」＝小名浜水産高等學校練習船＝の進水式は十九日午後三時から宮城縣鹽釜市東北ドック鹽釜工場で盛大に行われることになつた

同船は昨年十月着工された長さ三十三米、巾六・六メートルの鋼鐵製漁業船でエンジンはディーゼル機關五百馬力一基ほか六十馬力、廿五馬力の補助を備え、レーダー装置も完備しており同船の優秀な性能に早くも学生達の夢は遠く濠洲、印度洋上に飛んでいる、進水式後艤装をほどこすので完成は三月十五日の豫定

# 植田町郵便局に

## 商店が備品寄贈

植田郵便局（局長星克夫氏）の新廳舎は同町樋田建築工務所（所長樋田武治氏）の犧牲的な請負で郡南の邑都植田町郵便局にふさはしい仲々のモダン建築で異彩を放つているが、この程その新廳舎に植田町の飯塚ミシン商会より鏡、錦町の錦製パンよりは来客用の長椅子星友醤油KKよりは黒板が寄贈され待合室は一際明るくなつたため局長を初め局員一同事務の能率を向上されると大変喜んでいる

# 寒稽古開始

## 植田地區署

植田地區署（署長管野榮氏）では十八日午後一時より植田小学校講堂に於て寒稽古を開始した

# ＰＴＡが校庭工事

## 川部中泥田から救わる

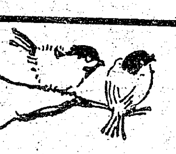
川部中部学校ＰＴＡ（会長鈴木榮氏）では去る五日より十二日まで中學校グランドの土モリ工事を行つた

この工事は一戸一名づつ延五〇〇名と村内のトラックを運轉鮫川より砂利をグランド一ぱいに敷埋めた、このため従来雨が降るとグランドは泥田のようになり生徒達は教室で猫の子のようになつていたものだが今度はどんな降雨があつても一日で乾き切つて仕舞うと草野校長を初め全生徒達が喜んでいる

遠藤先生談

校舎の新築と同時にグランドの整備をも考えておりましたが村財政の不足で完全な工事は出來ず今日まで延引して來ました、降雨があれば忽ちにして泥田のようになり生徒達も大苦勞しましたがＰＴＡの皆さんの犧牲的な奉仕でこんなに立派に完成しました、何んてお禮を言つてよいかお禮の盡しようもありません、ただ感謝の氣持で一杯です、子供達も非常に喜んでおります

印刷
御用命ハ
電219



# 太郎鳥と花子鳥 ⑬

## 不思議な鏡の巻

濱野幸子

### 第五景

いよ〱太陽新聞社の登場と言う事になりました。こゝで王様はカラス君にその司會を命じました。彼は太陽新聞の内部をよく心得、一人々々の記者の人柄を適確につかんでをり私情（もつとも相手がカラスですもの）を交えず公正な眼で批評出來るのが買われたわけです。カラス君は拍手に向えられて壇上に登りました。司會の辞が述べられるのです。「えー皆、皆さん女浜の選擧戰も後、僅か三十時間でざんす。勝負は混沌として、暗雲垂れ人間さまの世界は大闘争に火花を散らしているんでざんすが眞に御氣の毒な事でざんす。見るも哀れな醜態。あゝもしなければ町長の椅子に坐れないとは馬鹿を通り越した滑稽な蹟でざんす。目覺めない人間社会は動物界からどん〱とりのこされて行く動きが彼等には皆目分らないんでざんすからね。かつて我等鳥族が四世紀の昔、つまり鳥紀〇七一三年、王位繼承の未曾層の大選擧が行われ、紀元以来思うまゝに閥々と俺が世界の風を吹かして飛びまわつていたかの皇漠鳥が、金と權力を振りまわし、貧しい鳥無智な鳥喰いつくせる者は皆な喰い倒さうと、言葉巧みに選挙の前々日から、腹心をかり集めその家族までも動員させ、相手の弱点をつゝきながら皇白鳥の陣營を大買收できり崩した事はあまりにも有名な事でざんした。その時、皇白鳥が憤激して。「あゝ、金は凡ての良識を失せ、權力の手先となり、貧しき者も、虐げられた者も、更には鞭打たれた者の眼を眩まし心をまどわす……」と歎じ、「若し吾れが敗北したならば皇漠鳥を擁護する閥政治は更に壓迫を加え、閥族繁榮の亂脈政治が公然と行われる事は必至だ!!」今もつて忘れ得ない、皇白鳥の叫びでざんした。しかし諸君！皇漠鳥の金力が意外にも皇白鳥を支持した大衆の前に葬れ根强い閥の何百年の歴史が斷ちきられた事でざんす。皇白鳥はとの時、「金は鳥の心は買えても幸福は奪えない」と涙ながら大衆にそその感激と正義を訴へたんでざんした、閥に對する挑戰が結束して眞実の幸福を彼等の魔手から守り抜いた勝利でざんした。顔や、手段の鎖は節操と良識を固守する者の手でもろくも絶ちきられるんでざんす。万一、あの時皇漠鳥が再び王位の座に君臨していたら我が鳥族は今も金と權力のみに支配され無智蒙昧な閥族の專制に心を傷めているのでざんす……」カラス君は長講一席、とゝでワキに置からた水ガメに口ばしを入れのどをうるほしました。「さあ、衆議一決の太陽新聞は中庸を保つているので評判高いのでざんす孔子が中庸を說いたと云うんでござんすが、彼は說いたのではなく、中庸であるべきだ――と歎いつながりが枝葉に伸びてたんでざんすよ。この歎きの聲が、新聞社と名乘る建物に浴びせられているのを女浜や鯛良の人間さまからよくきかされるんでざんす。どうも地方紙となると土地の何れかの勢力に抱かれ政爭の具に紙と活字を消耗させるんでざんす。それが選擧ともなれば、我田引水味方陣營の先棒を巧みにかついで泥試合をやるんでざんすから社会の公機でなく、おらがの機關紙でざんすよ!、新聞社のボス化や御用化は明るい社会の回轉を急速に逆轉させる恐しい力をもつてるんでざんす、だから謀略にたける地方政治家はとの利用價値を心得て効果を狙うわけなんでざんす嫌な事でざんすね。女浜にも一人いるんでざんすがとれは檜舞台で活躍する某議員の關係からとの彼が日に四、五回、某選擧事務所に顔を出しているんでざんすが、このところ女浜――選擧事務所――鯛良、と忙しくかけずりまわつてるんでざんすが、いくらか金になつたのか？また、なるんでざんすかね？氣になつて仕樣がないんでざんす。いくら、たみに報ずる新聞と名乘をあげても一寸考えさせられるんでざんす。「選擧が終つても女浜の各戸に是非サービス用の新聞を入れて下さい」――なんて皆なが笑つてるんでざんすよ。まア新聞の話はこれ位にしてこれからは主に選擧違反について、鳥族の諜報團と太陽新聞とのどちらが正しくとらえ、多くつかんでいるかと言う点から鏡を向けたいと思うんでざんす……。

立候補挨拶
小名浜町々会議員候補者
日本社會黨右派
土建業
小野幸次郎 三八才
經歴
一、昭和二十二年 革新民主同盟幹事長
一、昭和二十五年 日本社会黨小名浜支部長
一、昭和二十八年 福島縣連漁民部長 中小企業対策部長 農村振興対策部長
政見
◎待合政治ど權力政治を打破し不平不満のない町民課程の是正を期す
◎町民に喜ばれる町政の確立を期す
◎特に零細漁民農民勤労者の生活の安定を期す
◎めぐまれたい人々に対する社会保障制度の均衡を期す
◎健全なる地方自治の確立

内科 小兒科
眼科 産婦人科
▽姙産婦預ります
小名浜郵便局前
三森醫院
電話七九八番
院長 三森光三
助産婦 三森晴江

拾万台突破
新しい威力として大評判の
前進六段・後退二段装置式
＝三輪車界の王者＝
ダイハツ号
カタログ進呈

御一報次第参上
月賦販賣御相談に應じます
ダイハツ号
ツバサ号
富士ベビーランナー
代理店
小名浜町
宮下商會
モーター部
電話一九八番 四五九番

内科
小兒科
レントゲン科
看護婦見習急募
小名浜町花畑三七
賀澤醫院
院長 賀澤貞雄
電話二九三番

ホシ友醤油株式會社 社長 星友太郎

うまい醤油
うまい味噌
ホシ友
ホシ友
友
ホシ友
ホシ友

美容院
* * * * * * *
開店御知らせ
* * * * * * *
貴の女性美は……
御調髮のセンスから……
皆様がキッとお氣に召す
技術と感覺は
パールの自慢で御座居ます
ウオールパーマ コールドパーマ
パール美容院
小名浜町松中七二
岸 春江
電三五九

パインミシン 福助ミシン
芝浦ミシン 日産ミシン
外五種類
現金賦月販賣

飯塚ミシン商会
營業所植田町本町電呼二〇七
工場植田町北台町電話二六八

印刷
……事務用印刷物……
……パンフレット……
……チラシ・雑誌……
……機關紙・其の他……
【急募】中卒上男女若干名 保護者同伴来社望
長セ印刷所
電219・387